

## 2022年度 神戸財団賞受賞者コメント

作品のテーマや物語性を考えて描くことがあまり得意ではありません。作品の中に閑けさのある空間を描くことで、自身の心に平静が訪れることに安心感を覚えます。そういった自分の望む深沈とした情景を表現したのがこの作品です。  
この作品を見て50年以上前にリリースされた「空飛ぶくじら」という曲を思い出したと話してくれた人がいました。私の作品が観た人の郷愁や想像力に少しでも触れることができたなら、これ以上嬉しいことはないと思います。  
この度はすてきな賞をいただき誠にありがとうございました。

美術 日本画 佐藤 花菜



まず、作品を作るにあたりこれまで相談に乗っていただいた先生方や友人にお礼を申し上げます。また、この賞をいただけたことは、私にとって今後の活動をしていく励みとなりました。

私は彫刻を学んできましたが、次の春からゲーム会社で開発者として勤めます。しかし、作るものが何であれ、制作において私は、私たちが生きていく上で感じる「喜び」を大切にしたいと思っています。どんなささいな気持ちであっても、その「喜び」が、私たちの毎日をつくる力であると私は信じているからです。その信念をもとにこれからも真剣に作品を制作します。本当に、ありがとうございました。

美術 彫刻 新居 愛

この度は神戸財団賞を頂戴し、大変光栄に思います。まさか賞をいただけると思っていませんでしたので、驚きと嬉しさでいっぱいです。  
新しい手がかりを探すことを目標に、試行錯誤して書いた論文でしたので、評価していただけてとても嬉しい限りです。本当にありがとうございます。  
この賞をいただけたことを励みにして、今後も一層研究に精進して参ります。

美術 芸術学 福岡 優里



この度は大変栄誉ある神戸財団賞を頂き、誠にありがとうございます。  
2年間の研究の成果として、このような賞をいただけたことを大変光栄に思います。  
修了制作では、全国27ヶ所で採集した石のテクスチャを抽出し、ニットで再構成することで新たに5種類のプロダクトとして展開しました。  
テクノロジーが発展する時代の中、私たちは人工物ばかりに囲まれて生きています。  
本作品は、石そのものの特徴を尊重し、あえて余計な手を加えず、プロダクトとしてデザインすることで、人が自然と共生できる空間を提案しています。  
この賞を励みに、これからも活動を継続し、更なる飛躍を目指していきたいと思っています。

美術 デザイン 伊藤 なごみ

このような賞をいただけること、とても嬉しく思います。有難うございます。  
作品「FIELD:EGGS THE LIGHT」を作り終えたとき、「見えざるもの」より祝福を受けたような感覚を覚えました。作品がこの世に生まれ、「見えざるもの」の気配を少し、わたしもこの目で見て、この身で感じ取ることができたように思います。初めてでした。  
ようやく表現の一步を踏み出したように思います。これからも美術を続けていきます。

美術 陶磁 鹿島 萌由





この度は素晴らしい賞を頂きまして、誠にありがとうございます。喜びと共に、背筋が伸びる思いです。大学生活の中で多くの体験に触発され、音楽(音)とは何か考えるようになりました。答えこそ出ませんが、その中から徐々に自分の音楽語法を獲得しようとしています。

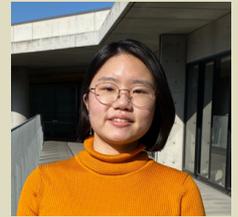
卒業作品《MOTION CAPTURE CAPTURING》は、多くの要素が撒布されつつも、線的な音楽に聴こえる作品となり、どこか今の私の状態に近いものになりました。今作で得たものを、次回作へと必ず繋げていきます。

まだまだ未熟な私ではありますが、今後も多くのものに触れて感性を育て、新たに挑戦することを忘れずに、真摯に作曲を続けて参ります。

音楽 作曲専攻 作曲コース 上野菜々

この度は神戸財団賞をいただき、誠にありがとうございます。このような賞をいただけたのは、熱心に指導して下さった先生方やサポートしてくれた家族、友人の存在があってこそだと思っております。卒業論文執筆の過程では大変なことも多々ありましたが、それ以上に研究の楽しさや達成感を感じることができました。この賞を励みに、より一層努力してまいります。ありがとうございました。

音楽 作曲専攻 音楽学コース 山上千乃



この度はこのような素晴らしい賞をいただき誠に光栄です。

私は大学での4年間で、音楽における技術はもちろんのこと音楽家としての姿勢、考え方を学んできました。歌い手が存在するということは、聴き手が存在する。誰かの思い出に少しでも刺激を与えることのできる音楽家を日々志しております。

世界各国であらゆる騒動が起きる中、こうして音楽を続けることができる幸せ、誰かに聴いていただくことのできる現状にまず感謝をして今後とも精進いたします。

音楽 声楽専攻 森川知也

このたびは神戸財団賞に選出いただきありがとうございます。

4年間の中で、上手くいかず自分に自信が持てなかった時期もありましたが、先生方、家族、友人の支えがあり、最後に立て直すことができました。本当に感謝しています。

今後も様々なことに直面すると思いますが、初心を忘れずに努力してまいります。

音楽 器楽専攻 ピアノコース 加藤愛梨



この度は、名誉ある神戸財団賞を賜り、大変嬉しく光栄に思います。愛知県立芸術大学では、素晴らしい先生方にご指導いただき、切磋琢磨し合える友人に恵まれました。素晴らしい環境で様々な音楽経験をさせていただいた愛知県立芸術大学に深く感謝する次第です。

歌を歌うように楽器を身体の一部として使い、直接心と繋がるものとするのが、長年自分の課題であると感じておりました。6年間の集大成である修士演奏で、その感覚を少し掴むことができたように思います。

この度の受賞を励みに、周りの方々への感謝を忘れず、今後は音楽を通して社会貢献ができるよう、精進して参りたいと思います。この度は誠にありがとうございました。

音楽 弦楽器領域 井上あゆみ

この度は、このような素晴らしい賞を頂戴し誠に光栄です。私は学部時代から大学院まで6年間愛知県立芸術大学で学んできました。地元埼玉を離れ不安も多くありましたが、ご指導いただいた先生方、支えてくれた家族、友人や先輩後輩、たくさんの方の支えがあり私の人生でかけがえの無い時間を過ごすことができました。卒業し、新たなスタートラインに立ちますが愛知県立芸術大学で学んだことを十分に生かし、今後はさらに沢山の方に自分の演奏を届けられるよう、室内楽やソロ活動に日々精進してまいります。

音楽 打楽器領域 小林美里

